

# 図工「わたしの大切な風景」(水彩画・風景画)

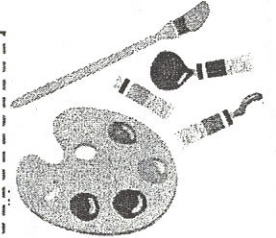
名前

小学校生活の中で今までお世話になったものや大切なものを主役に置き、背景には窓の外に思い出の学校から見える風景を描きます。心を込めて、楽しく描いていきましょう！

描く対象をよく観察しながら、特徴や形状を丁寧に表現し、影や色合いを工夫することで遠近感のある作品にしていきましょう。

## めあて

- 大切なものを、心を込めて丁寧に描く。
- 対象をよく観察し、色や形を表現する。(立体感・陰影・大きさ・質感)
- 色のぬり方の工夫をする。(混色・ティッシュ・スポンジ・指・歯ブラシ)



## 準備するもの

- 絵の具セット (筆・筆洗・水彩絵の具・パレット)
- 雑巾(布) 2枚: 筆の水気をとるもの・筆洗やパレットを洗った後にふくもの
- 画用紙 1枚 (学校で配布): 1人1枚。描き直しはできないので大切に使いましょう。
- 新聞紙: 絵の具を使うときに下に敷きましょう。
- (色ぬりの工夫に使うもの: ティッシュ・スポンジ・歯ブラシ・パステルコンテ(学校で用意) 等)

## 【描き方の手順とポイント】

### ① 描くものを決める

【小学校生活でお世話になったもの、大切なもの (小学校の思い出)】

例 (ランドセル・筆箱・鼓笛の楽器・文房具・ボール 等)

※習い事で使っているものや、個人で持っている思い出のあるものでも OK

※窓と背景を考えたとき、大きすぎるものや小さすぎるものはおすすめしません。構図を考えましょう。

《色の工夫》

寒色 (青に近い色) より暖色 (赤に近い色) の方が手前 (近く) に見える効果があります。そのため、暖色系のものの方が遠近感をつけやすいです。対象を選ぶときの参考にしてみてください！

※白色のものは、陰影や遠近感を出すのが難しいです。

【背景 (小学校から見える風景)】

次の2つの方法から好きな方を選んで描きます。

- 先生のおすすめ風景の写真の中から選ぶ (※写真は家に持ち帰ることができる)
- 自分で好きな風景を探して描く (※学校にいる間に直接見て描く)



※鶴巻小学校のホームページの「学年ページ」に完成例をカラーでのせています。

インターネットが使える人は参考にしてみてください。

秦野市立鶴巻小学校

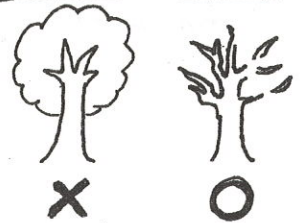
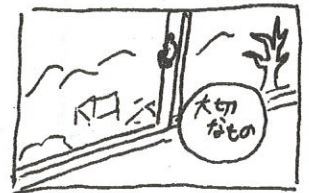
検索

## ② 下描きをする

1、構図を決める。(窓枠はななめにするとよい) →鉛筆でだいたいの位置をうすく描く。

2、対象をよく観察しながら、描いていく。(消しゴムを何度も使わない)

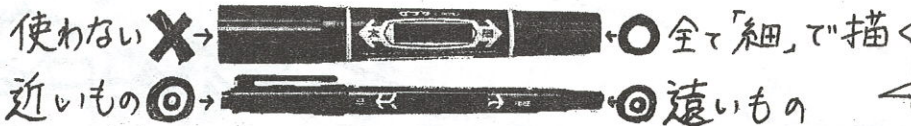
- 近くのは大きく、丁寧に描く。
- 遠くなるにつれて、ものは小さく。  
(家や街並みは少し省略してもOK! 目立つものはしっかり描く。)
- 立体を意識して描く。
- まっすぐの線でも、定規は使わない。ゆっくり丁寧に線を描くようにする。
- 木を描くときは、幹と枝のみで、葉は描かない。(葉: 絵の具で表現)
- 雲や影は描かない。(絵の具やパステルコンテで表現)



## ③ 油性ペンでなぞる

※水性だと絵の具で色をぬるとき、にじんでしまうので注意! 必ず油性か確認をしてね☆

- 近いものは細身のペンの「太」で、背景の小さいものは「細」で描くとよい。



- 黒いところをペンで塗りつぶさないように注意 (絵の具でぬる)
- 最後は消しゴムで丁寧にやさしく鉛筆を消す。

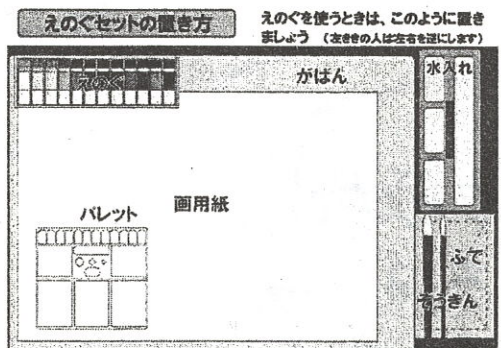
## ④ 水彩絵の具で色をつける

はじめに、用具の確認、準備をして必要なものをそろえましょう。

※絵の具をぬるときは、パレットを手にとって使いましょう。

《ぬり方》

- 最初は水をたっぷり使い、うすい色 (紙が透けて見えるくらい)
- 少しずつ色を重ねて、影をつけていく。(少しずつ混色)
- 近いものほど鮮やかで濃い色にする。(3色以上の混色や白を混ぜることはさける)
- 遠くのものほどくすんだ色にする。(白を少し混ぜる・3~5色を使った混色)
- 油性ペンが消えてしまうのは濃すぎるので水をプラスする。
- 影: 黒もしくは青をもとの色に少し! 本当に少し!! ずつ加えて重ねていく。  
→パステルコンテの使用もOK! (学校で使えます)



使う場所: 影・色の付け足し

特徴: ほんやりとした優しい色付け・混色ができる・消しゴムで少しなら消すことができる

《使い方》

- ① 紙に使いたい色をこすり、粉状にする。
- ② ティッシュに粉をなじませる。
- ③ 優しく絵にのせる。(指でなじませる)

注意: 必ず絵の具がかわいてから使用する。

